

「衛星情報の漁業への実利用」

爲石日出生(一般社団法人漁業情報サービスセンター:tameishi@jafic.or.jp)

(1) Japan Fisheries Information Service center(JAFIC)

しずくGCOM-W
センサAMSR2



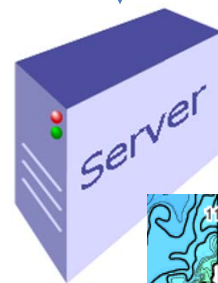
JAXA衛星センター

専用回線

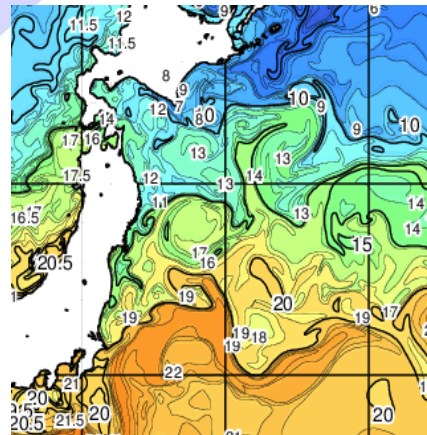
現場の水温
データ



NOAA衛星直接
受信システム



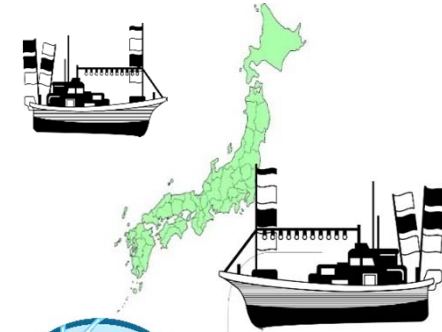
データの
処理解析



高精度の水温図

漁業情報サービスセンター

漁船および漁業関係者

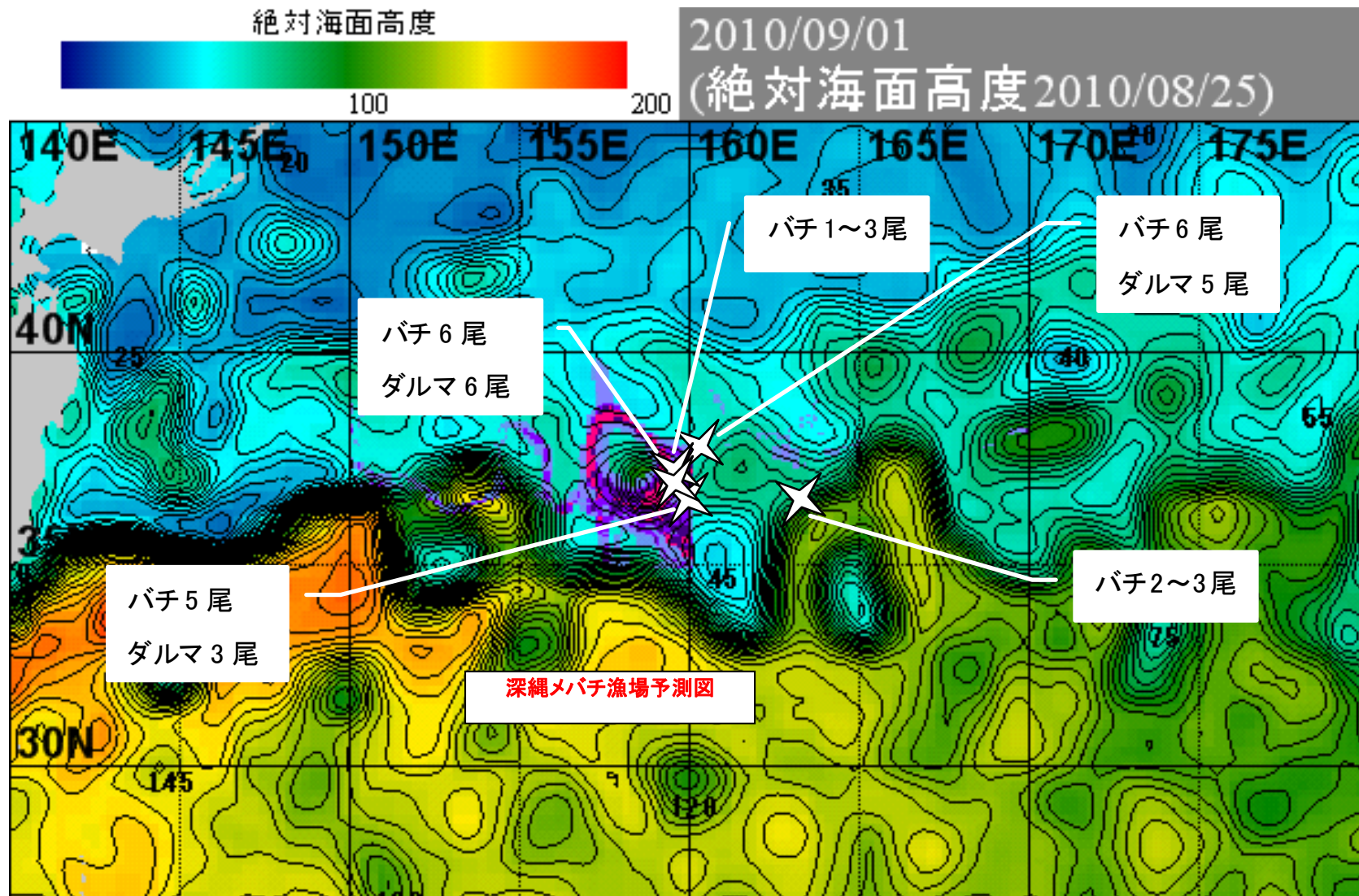


インターネット



試験研究機関

JAFICは洋上の漁業者へ
衛星情報等を活用した
海況図を提供しています。



(2) Violet and red area is predicted fishing ground area in 2010. Star Marks shows truth data of big eye tuna fishing grounds. They agree with predicted fishing ground .

JAFICでは多くの漁海況情報を提供しています。その一つにマグロはえ縄船に向けて、メバチマグロの漁場予測情報があります。

(3)Result

Ratio of correct prediction

73%

予測の的中率は、平均73%にも達しています。その結果JAFIC漁業情報提供ソフト「えびすくん」の利用者は、マグロはえ縄漁船が最も多くなっています。

(4) Conclusion



これは漁船の狭いブリッジの中です。船頭さんはパソコンに食らいつくようにして必死に衛星画像を見ている。衛星情報は今や船頭さんの必需品です。燃油が16.1%も節約になり、船頭さんもパソコン世代へと若返り後継者育成にも貢献しています。したがってAMSR2等の衛星が途切れることは、漁師さんにとって死活問題となりかねない状態です。継続性こそ宝です。